

理財局特別情報（第三十七號）



オランダに於けるインフレと對策實施狀況

（昭和二十一年十一月十五日  
理財局）



目次

一	通貨非常措置の實施と経過	一
(一)	非常措置の實施	一
(二)	その経過	一
二	最近に於ける通貨の膨脹	三
(一)	序説	三
(二)	封鎖資金の解除	四
(三)	解除資金の國債投資	五
(四)	財政の赤字	七
三	赤字財政克服の努力	一〇
四	中央銀行國有化問題	一一
五	統制經濟の問題	一一
(一)	指導經濟	一一
(二)	生産増強策	一四
(三)	外資の導入	一七

一 通貨非常措置の實施と経過  
オランダに於けるインフレと對策實施狀況

(一) 非常措置の實施

オランダは昨年九月二十六日を期して銀行預金封鎖及び紙幣交換に依る通貨非常措置を断行した。斯くて昨年五月五十五億グルデンの記録的數字を示した通貨流通量は一撃に十億グルデン程度まで収縮した。その後新紙幣は計画的に放出せられ、本年一月の大蔵大臣報告に依れば通貨整理は漸次なる効果をもたらし、今やインフレーションの危険は去つたかの觀を呈した。

(二) その経過

(1) 併し爾來通貨流通量は漸増し就中本年に入つてからの増勢には顯著なるものがあり、ベルキートの實績と比べて若干見分りが認められる。即ち新紙幣の流通量は昨年十二月末、十三億八千六百万グルデンであつたものが、本年四月には二十二億三百万グルデとなり、八月には二十四億六千万グルデン、更に十月中旬現在では二十五億五千五百万グルデンを示してゐる。

(2) 經濟活動が回復するにつれ、通貨の膨脹するのは當然であるが、今日の生産水準を以てすればその膨脹率は大き過ぎると言はれてゐる。獨逸軍の占領から解放された當時の生産能力は戦前の僅か三十パー

二、

(一)

序 説

セント、本年上半期末現在でも漸く六十パーセント評價されてゐる。斯くてインフレの危機未だ必しも去らずとの議論が再燃してゐる。即ち通貨整理は嚴重な財政均衡化政策が堅持されない限り之がその効果が減殺されると云ふことを最近のオランダの經濟は事實を以て證明してゐると云へる。

今や第二段階としての新対策が必要とされる情勢に當面してゐる譯である。

通貨膨脹の主要な原因としては

- (1) 封鎖預金の解放
- (2) 銀行の貸出増加
- (3) 國庫の需要増加の三點が擧げられる。

(二) 封鎖預金の解除

(1) 昨年九月封鎖された預金は先づ償還給料に充當されるべきものが解除され、次いで一人當り百グルデンまで夫々新紙幣に依る拂出が許された。これに續いて凡月中に預金現在高の中から一千グルデンを超えざる範圍でその四分の一を引出し得ることとなつたが、この場合現金支拂を併せざることを條件としてゐた。

(三)

- (2) 尚ほ企業經營者に對しては政府の許可を得た原料及び生産設備の購買に充てられる支出には新紙幣の拂出が許され、また税金支拂及び國庫への應募などにも封鎖預金は解除された。
  - (3) 斯くて封鎖預金は徐々に解放されたが本年二月次第的解除が行はれた。
- 解除預金の國庫投資
- 併しこの場合も國庫への應募か或は増加財産に對する納税義務負擔かのいづれかの條件付きであつた。
- (1) 即ち前者の場合には二分半利付貯蓄證券(期間五年以上、一人三百グルデンまで、期間經過後は證券市場で自由に賣買が許される)または三分利付の交付

債へ政府公債へ記入存期間五十年、三年間は證券市場での賣買禁止への投資が許される。

- (2) 斯くて過剰購買力は當分の間の捌口として國債に走り、僅かの間に貯蓄債券は一億二千万、國債は十億の應募があつた。こゝに於て財界の一部から封鎖預金の解除に依つて國債消滅が容易になつたが、政府は斯かる通貨整理の副次的利益を満喫するばかりで通貨膨脹の主原因たる財政の整理を怠つてゐるとの非難が出るに至つたのは、興味ある点である。
- (3) 本年一月七日からアムステルダム證券市場が再開されたが、當分の間、オランダ國內の債券のみ制限され、また株式の賣買は政府の許可を要するこ

(四)

と、した。斯くて解除された新通貨が投機に走り、國內經濟再建の線に沿ふ投資のみ使用される方を採つた。國內復興に就ては、半官半民の國民復興會社(資本金三億グルデン)を創設し専ら政府統制下に復興事業に當らしめてゐる。

財政の赤字

- 併し何としても通貨膨脹の大きな原因は國庫の事情即ち赤字財政が依然整理出来ない点に歸せられる。
- (1) 國家財政は既に一九四〇—一九四四年の間に百十億グルデンの赤字を出した。
- (2) 本年度の國家財政においても經常費では歳出二十億三千万グルデン、歳入二十三億九百万グルデン

で、僅かの歳入超過を示してゐるが、臨時費では復興費関係の支出が尠大なため、歳出は三十一億四千万グルデンと膨脹してゐるのに対し、歳入は僅か九億一千万グルデンに止まり二十億二千三百万グルデンの巨額な赤字を出してゐる。

(3) 歳出は戦前の五倍に達し國民所得の六四パーセントに當ると云はれるが、戦中國債利拂を以て七億一千七百万グルデンにのほつてゐることは戦前の經常歳出が約八億五千万グルデンであつたことと比較してオランダ財政今日の苦境をよく物語るものである。

(4) 赤年度豫算においてもこの事情は好轉せず經常費臨時費合計で歳入二十六億グルデンなるに對し、歳出四十二億五千万グルデンにのほり十六億グルデンの赤字を出してゐる。

(5) 政府は豫算節約に大奮となつてゐるが、一方古い負債や削減出来ぬ國內復興への支出は別としてお所謂「指導經濟」遂行のためには尠大な行政費と官僚群の存在が必要だしまた陸海軍の再建、蘭領東印度關係の支出なども不可避の事情がある。

(6) 斯くて今日オランダ政府の背負はざるは復興費は總額二百五十五億グルデンへ國債現在高百五十億グルデン、赤回収對獨輸出代金四十五億グルデン、戦後復興のための支出赤字三十億グルデン、戦後被

害政府賠償三十億クレンと違するが、此れが如何に大なるものであるかは一九三八年年初現在の國民財産總額が二百五十億クレンに、此れは數年中に十三パーセント減少したと評價されてゐる。此れを以て點と比較すればよく新報が就るであらう。

三、赤字財政克服の努力

- (1) ミ、においでオランダ政府の新策としては先づ財政的處置として増税及公債本額の發行が考へられてゐる。
- (2) 資本税に就いては計重ばかりで亦た、實現し難いが、總之二十億の増収を目指して近く議會へ提案されること云はれる。此れによると財産十萬グルデン以下に對しては十パーセント十萬乃至二十萬十萬五パーセント、

二十萬乃至五十萬一二十パーセント、五十萬乃至百萬一二十ニパーセント半、百萬以上一二十五パーセントと云ふことになつてゐる。

四、中央銀行國有化問題

英國の例に倣つて中央銀行の國有化が行はれる模様で、政府の金融支配力は更に大きくなるであらう。(中央銀行が背負はされてゐた對獨未回收輸出金は最近政府が肩代りすることになり、その代り中央銀行は此れを國債で受取り將來オーブンマーケットオペレーションの基金に利用することになり政府との間に諸がつかう。)

五、統制經濟の問題

- (一) 指導經濟

(1) 財政的處置と並んで今日一番問題となつてゐるのは物の面からの統制、即ち所謂「指導經濟」の實行である。その中でも特に今日のオランダ經濟にとつて重要なものは生産能力の増大である。この点に就きロンドンエコノミスト誌は左の如く述べてゐる。

「經濟計畫の基礎は國家の生産能力の再建である。現在生産水準が不満足な状態にある根本原因は人間と機械の能率の低下にある。オランダ炭礦業が八月において三萬三千人（一九三五年十一月三八年の間の平均数の一〇九パーセント）の労働者を雇用したにも拘はらず實際の生産量は僅かに六十五

万六千トン（同じ期間内の平均月産額の五九パーセント）に過ぎなかつた事實が、此を明瞭に物語つてゐる。他の産業一般にも同様の状態が認められる。熟練工は戦争中に全く居なくなつてしまつた。そして熟練工養成は現在まだ正常の域に復帰してゐない。従つて産業上の生産能力再建と、個々の人間の技能を正常な状態に引戻すことが、一九四七年度の經濟計畫の試金石として今後に残されてゐる。

(2) 生産能力増大の方策に就いては獨逸軍の占領から解放された當時以来の懸案であつた。

即ちオランダは獨逸が占領中に行つた非工業化農業國家政策を再び大きく切り替へて世界の新情勢に



(二)

適應すべく国内經濟の近代化、産業機械化に努力せねばならぬ事情にある。政府はオランダ經濟再編成のため中央計畫局を設立し、專ら「指導經濟」に依つて目的を達成せんとしてゐる。併し今日の財政事情においては、早急の効果は望み難く、例へば炭礦業の機械化に於ても二億グルデンを要すると見積られてゐる。政府も腰を括へて長期の計畫を立て、居り、中央計畫局長も屢々「オランダ經濟を救ふ唯一の道は激しい労働と消費物資の節約以外にはない」と國民に呼びかけられてゐる（最近の閣議で「多く働き多く貯蓄する」とする國民標語に決定した。生産増強策

(1) は 生産の増強策として今日採られてゐる方策として

(1) 企業家の能率競争  
 (2) 緊急必要物資の大量生産を行はしめるための企業  
 の再編成の命令

(3) 原料割當方針の改善  
 (4) 取引證據金の引下げ

等々がある。なほ賃金政策に就ての政府の見解は賃銀水準の現状維持と極物價政策を基礎として「賃銀引上げは生産力が増大し生活水準が自然的に向上したときに行はるべきもので、今日の問題ではない」との態度を押し「労働者の生活水準改善は一般的な賃

銀の引上げに依り去して労働競争の向上の基礎を置  
くべきである」と屢々述べてゐる

(2) このための具存策として金銀兌換制を提唱し能  
率の高い者への暴進的割増を認めさせてゐる。また生  
活必需品輸入資金前貸制度へ家産一人當り百グルデ  
ンまで前貸返還は一週一グルデンの規定であるが、  
事情に依り若干緩和されるし、また全額免除の特例  
もある。等も生産増強に益で大きな役割を演じてゐ  
る。併し賃銀が停止されることも拘らず、物價は  
相変わらず昂騰してゐるので（卸賣物價指數は一九三  
八年十一月三九年を一〇〇とすれば昨年八月一七八  
本年五月、二六四となつてゐる）、労働争議は絶へ

(三)

が繰り返されて居り、このキヤツプはやがて何等か  
の方策によつて埋められねばならないであらう。  
外資の導入

(1) 国内生産増強に努力するとともに貿易改善、従つ  
て外國資金の利用に大重となつてゐることは他の欧  
洲諸國の場合と同様である。戦前のオランダは出超  
國であり、債權國であつたが、戦争中にすつかり事  
情が逆転し一九四六年度計画に依れば外國への支拂  
二十八億グルデンなるに對し受取勘定は漸く十億グ  
ルデン（現在までの実績から見ると事實は六億グル  
デンと見られてゐる）に過ぎない。二十億グルデン  
に達する支拂超過は在外資産の整理位ではおつ、か

(2) ず一億五千万が豫定され、その半額以上は市証券の賣却よりの収入に結局外國からの援助に俟つ外はない事情がある。

幸ひこの英オランダは惠まれば地血にあり本年十月中旬現在で外國信用の總額は十三億五千グルデンに達して居り、主なものを採つて見れば次の如くである。

(一) 短期信用

英國より	千五百萬磅	利率 一パーセント
ベルギーより	八億ベルギーフラン	無利子
フランスより	二億フラン	利率 二パーセント
米國より	二億幣	利率 二パーセント

(二) 長期信用

カナダより	一億二千五百萬カナダ幣
スウェーデンより	一億クローネ
スイスより	九千八百萬スイスフラン
米國より	一億八千五百萬幣

この水準の外國信用に依り國內復興と輸出産業に必要な原材料を輸入する譯であるが輸出入物資の價格差は總へす付きまといつてゐる問題である。戦前のオランダの經濟はドイツに依存する所が頗る大きく、ドイツの崩壊及び後の經濟的復興の程度が不明なことは蘭領印度問題と共に非常な痛手である。

(3) この間にあつて稍々好材料と見られるのは近く或  
立を見る(去年一月から突現の見込)ベルギー及び  
ルクセンブルグとの間の三國同盟同盟を、政治的意  
義の他に経済的意義を大なるものがあつたと見られ  
てゐる。